

【単元のねらい】

人や他の動物の体のつくりを観察したり資料を活用したりして、骨や筋肉の動きを調べ、人体のつくりと運動の関わりについての考えをもつことができるようにする。

【番組の利用に当たって】

本番組は、人と馬の体のつくりを比較し、その共通点・差異点についてていねいに取り上げ、徐々に他の動物の体はどうなっているだろうかと興味が広がっていく構成になっている。そこで、学習の導入部に持ってくることで子どもの意欲を喚起できると考える。

○：学習活動 ◇：支援 ◆：番組 ■：クリップ ▲：ワークシート

次時	学習活動	教師の支援
第三次 6 動物の体	○動物の体のつくりについて簡単に話し合う。 ◆「動物の体」を視聴する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">動物の骨や筋肉はどのようになっているだろうか。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">観察3</div> ○ウサギやモルモットなど学校で飼っている動物の骨や筋肉の観察を行う。 ・ウサギは走ったり、はねたりするために、後ろ足の筋肉が発達している。 ・後ろ足の方が指の骨が長い。	◇うさぎは無理に押さえつけると怒って噛みつく場合があるのでくれぐれも安全面には気をつけるようにする。 ◇動物をさわったあとは必ず手を洗うようにする。 ■動物の体の動き ■馬とライオンの足 ◇骨格標本があればそれも利用して調べさせる。 ◇動物のくらしと関係づけて考えさせる。
7	○他の動物についても、図鑑やデジタルコンテンツ等を用いて調べる。 ・鳥は羽ばたくために強く大きな胸の筋肉がある。 ・魚は体をくねらせて泳ぐので、細かい骨がたくさんつながっている。	
	動物はそれぞれのくらしにあった骨や筋肉のつくりをしている。	